

～誰にも生まれてきた意味がある～

人気小説「あん」の原作者ドリアン助川さんと女優中井貴恵さんによる朗読公演

◎スケジュール

- 12:30 開場
- 13:00 開会/主催者挨拶
- 13:10 朗読劇「あん」  
～誰にも生まれてきた意味がある～  
出演：ドリアン助川（朗読）、中井貴恵（朗読）  
ピクルス田村（ギター）
- 15:00 閉会
- ☆フロアイベント(15:00)  
ドリアン助川さんのサイン会  
(当日小説「あん」をご購入の方・限定数)

2022年 13時～15時  
2月26日 土 (開場 12時半)  
熊本テルサ 1階テルサホール

入場無料 定員：250名  
手話通訳あり

受付開始・・・12月20日(月) 応募先 [✉ kumarindou@gmail.com](mailto:kumarindou@gmail.com)

応募方法

メール、又は右記のQRコードを読み取りご応募ください。りんどうのホームページからもご応募できます。なお、配慮が必要な方はお申込みのときにお知らせください。



携帯でのお申込みはこちらから

※いただいた情報は責任をもって管理します。なお、今後のイベントの際にご案内をしてもよい方は、その旨お知らせください。



朗読劇

あん

線路沿いから一本路地を抜けたところにある、ちいさなどら焼き店『どら春』千代太郎が日がな一日鉄板に向かう店に、アルバイトの求人を見てやってきたのは70歳を過ぎた女性・吉井徳江だった。

徳江のつくる「あん」の旨さに舌をまく千太郎は、彼女を雇い、店は繁盛しはじめるのだが……。偏見により社会から締め出されてきた徳江が、千太郎に伝えたかった「生きる意味」。深い余韻が残る、現在の名作。

～ドリアン助川～

生をまっとうするとは、どういうことなのか。逆境を生き抜いた女性を軸に捉えた物語ではありますが、「あん」を描くにあたって心を砕いたのは、生きることへの普遍的な問い掛けに対するひとつの思いの提示です。朗読の第一人者である中井貴恵さんと原作者である私が、語りだけお届けする「あん」は、声にならない部分も含めて、命あるものたちの言葉に満ちています。透明なその言葉を、どうぞ聴きにいらして下さい。

～中井貴恵～

私のもとに送られてきたかわいらしい装丁の「あん」という小説。いっきに吸い込まれるように読んだ。透明感のある文章。そこに生きる人たち。久し振りにすがすがしい読後感に満たされた。あつという間にこの小説が映画になった。実は映画化が決まる前に「一緒に朗読劇にしませんか」と原作者であるドリアンさんから声をかけていただいた。「誰にでも生まれてきた意味がある」そんなテーマを美しい言葉で表現できたらと思っている。

◎出演者プロフィール

中井貴恵さん (女優・エッセイスト)

大学在学中東宝映画「女王蜂」でヒロインデビュー。その後数々の映画・ドラマに出演。現在は「大人と子供のための読み聞かせの会の代表と努める。2006年より音楽と朗読を合体させた朗読公演「音語り」にも精力的に取り組んでいる。絵本を題材にした「あらしのよるに」「きいろいばけつ」、2009年より映画小津安二郎監督作品から「晩春」「秋日和」「東京物語」「お早よう」「秋刀魚の味」など。現在、全国各地で音語り公演を展開

ドリアン助川さん (作家・ミュージシャン)

1990年代「言葉の復権」をテーマに世の中の森羅万象を激しいロックに乗せて独自のスタイルで叫ぶバンド「叫ぶ詩人の会」のヴォーカリストとして活躍。現在は、作家、歌う進化師ユニット「アルカン・ヴォイス・シスター」の歌手として精力的に活躍中。2013年に上梓した小説『あん』（ポプラ社）は、河瀬直美監督により映画化（出演：樹木希林さん、永瀬正敏さんほか）され、異例のロングラン・大ヒットを記録した。これまでに40冊の小説やエッセイ、絵本などを発表。

ピクルス田村さん (作曲・ギターリスト)

ドリアン助川さんと組む、歌う進化師ユニット「アルカン・ヴォイス・シスター」のギターリストとして活躍中

アクセス



バス：熊本市バスでは「熊本テルサ前」（中心部から15分）  
空港リムジンバス「熊本県庁前」バス停から徒歩5分  
高速バス・各種バス「熊本県庁前」バス停から徒歩5分  
市電：熊本市電「市立体育館前」電停から徒歩10分  
車：熊本 IC から車で15分・益城熊本空港 IC から車で15分

お問合せ：りんどう相談支援センター ☎096-365-7606

りんどう相談支援センター 検索 HPのQRコード⇒

